

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	じゅにあサポート「かのん」		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 23
○従業員評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 13日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が楽しく通ってくる	お子様1人1人に目を向けながら個々の好きなこと・得意なことを知り、コミュニケーションを図っている。	不満・不安な事も気軽に職員等に話せるようになってもらえるような関係性作りを行っている。
2	ヒヤリハット発生時の情報共有	自事業所は勿論のこと、同法人他事業所で発生したヒヤリハットについても職員に伝え自事業所でも同様の事が起こる可能性や危惧すべき点等の話し合いを行っている。	危惧すべき点などは話し合いをしているがその記録も見やすくしていきたいと思う。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の異動があったりで、人数が十分とは言えない。	人事異動があった際に保護者様への周知が十分でない	人事異動があった際や日常にて在籍職員が誰なのか等の見える化を行っていく。Hug(連絡アプリ)等にて現在の職員を掲示したいと思う。
2	保護者様の都合が合わず保護者向け研修会に参加できない方もいる。	曜日等は職員等で話し合っているため、それでは不十分である。また、保護者様が何を望んでいるのかの確認も必要である。	事前の周知徹底や保護者様に参加しやすい時間帯・曜日設定等も視野に入れて検討を行う。場合によっては保護者様に事前アンケートを用いて確認する。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない	児童クラブとの交流以前に児童クラブとの情報共有等がきちんと出来ていない。情報は保護者様経由で頂く場面が多い。	児童クラブ等のお子様の居場所となっている施設との情報共有が図れるようまずはアプローチを試みてみる。